

特別勘定マンスリーレポート

スイス年金

新変額個人年金保険(無配当)

ユニット・プライスの推移



※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

参考 主な投資対象の投資信託の運用状況(出所:クレディ・スイス投信株式会社)

クレディ・スイス世界バランス・ファンド(適格機関投資家専用)

■基準価額の騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年
クレディ・スイス世界 バランス・ファンド	▲1.12%	▲4.56%	▲2.42%	▲9.89%	12.89%

■通貨別構成比

	ファンド	複合指数 (参考データ)
米ドル圏	36.57%	38.19%
ユーロ圏	30.72%	30.75%
イギリスポンド	7.85%	8.12%
豪ドル(含NZD)	1.65%	1.75%
スイス・フラン	2.14%	2.04%
日本円	21.08%	19.15%
合計	100.0%	100.0%

* 複合指数はMSCI Worldインデックスの50%、シティグループ世界国債インデックスの50%を加重平均した指数

■上位10銘柄

(総組入れ銘柄数 361)

株式	国名	業種	投資比率
MONSANTO CO	アメリカ	素材	1.03%
CVS CAREMARK CORP	アメリカ	生活必需品	0.98%
CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	0.97%
ABB LTD	スイス	資本財・サービス	0.79%
SIEMENS AG REG	ドイツ	資本財・サービス	0.75%
SCHLUMBERGER LTD	アメリカ	エネルギー	0.71%
MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	0.69%
INVESCO LTD	アメリカ	金融	0.69%
CHUBB CORP	アメリカ	金融	0.67%
BANK OF NEW YORK MELLON CORP	アメリカ	金融	0.65%
合計			7.94%

債券	クーポン	償還日	投資比率
ドイツ国債	4.250	2014/07/04	1.70%
ドイツ国債	3.500	2009/10/09	1.67%
イギリス国債	5.000	2025/03/07	1.63%
フランス国債	5.000	2016/10/25	1.26%
フランス国債	3.500	2011/07/12	1.20%
ドイツ国債	4.000	2037/01/04	1.20%
ドイツ国債	5.000	2012/01/04	1.12%
第63回利付国債(5年)	1.200	2012/03/20	1.11%
第260回利付国債(2年)	0.900	2009/09/15	1.05%
フランス国債	3.500	2015/04/25	1.04%
合計			12.97%

特別勘定の名称

グローバルマーケット型

主な運用対象
の投資信託クレディ・スイス世界バランス・ファンド
(適格機関投資家専用)投資信託の
運用会社

クレディ・スイス投信株式会社

ユニット・プライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
▲1.21%	▲4.82%	▲2.99%	▲10.91%	8.63%	18.69%

特別勘定資産内訳

					構成比(%)
現預金	・	その	他	託	0.5%
投資		信	計		99.5%
合計					100.0%

■資産別構成比

	ファンド	複合指数 (参考データ)	ベット
株式	50.11%	50.00%	0.11%
北米地域	24.03%	26.26%	-2.24%
欧州(除く英国)	13.66%	11.14%	2.52%
英国	3.61%	5.15%	-1.54%
日本	5.69%	5.05%	0.64%
香港・シンガポール	1.75%	0.82%	0.92%
豪州・ニュージーランド	1.36%	1.57%	-0.20%
債券	46.35%	50.00%	-3.65%
米ドル圏	9.88%	11.28%	-1.40%
欧州(除く英国)	18.00%	21.65%	-3.65%
英国	3.70%	2.97%	0.73%
日本	14.77%	14.10%	0.67%
現預金	3.55%	0.00%	3.55%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

■運用コメント

市場概況

グローバル景気減速懸念を背景に7月に続き8月もコモディティ価格が下落しました。原油先物価格は約7%、CRBコモディティ指数は約6%の下落となりました。このことは債券相場を支える要因となり、現地通貨ベースでは大方の市場で小幅ながらプラス・リターンとなりました。一方株式市場では引き続き金融機関に対する懸念が強まりました。米国住宅公社の国有化懸念、大手住宅ローン会社や大手証券会社の損失懸念などから投資家はリスク回避姿勢を強めました。為替市場では米ドルが欧州通貨や資源国通貨に対して予想以上の急上昇を遂げました。対円為替相場は米ドルが0.4%上昇したのに対し、ユーロは5.3%、ポンドは7.6%とそれぞれ大幅に下落しました。

運用概況

8月のファンドのパフォーマンスは基準価額ベースで前月末比約-1.12%となりました。グローバル株式の保有はマイナスに寄与しましたが、グローバル債券の保有はプラスに寄与しました。ドルの保有はプラス寄与しましたが、ユーロ、ポンドなどドル以外の外貨の保有は、これらの通貨が対円が大きく値を下げたことからマイナスに寄与しました。

運用方針

米国では非農業部門雇用者数が減少を続けるなど、内需が弱含む兆候が現れています。長引く住宅市況の低迷に加えて銀行が貸し出し基準を厳しくしていることも、米国景気の前向きに対する懸念材料となっています。一方で4-6月期のGDPが予想以上に上方修正されるなど、足元の経済は輸出などの寄与もあってしっかりしています。耐久財受注、中古住宅販売件数、ISM非製造業景況指数などもこのところ予想を上回っています。住宅価格の下落が続いているものの、加速すると言う状況にはありません。加えてこのところのコモディティ相場の落ち着きはインフレ懸念を鎮静化することに役立っています。原油価格などの調整が定着すれば消費者物価指数に影響を与え、中央銀行の利下げ余地が出てくると考えられます。景気指標を見ると欧州のマクロ経済はこのところ減速傾向を強めていることから、このことは特に欧州中銀にとっては金融政策の柔軟性を保つ上で追い風となるでしょう。

世界の株式相場は歴史的に割安な水準にあり、マクロ指標などが好転すれば上昇余地は大きいと見られますが、目先は高い変動が続くと予想されます。ポートフォリオではグローバル株式をほぼ中立ウェイト、債券を小幅アンダーウェイトとする方針です。為替については円を小幅オーバーウェイトとする方針です。

※当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

※その他、次ページの「ご注意いただきたい事項」等を必ずご参照ください。

当資料はアクサ フィナンシャル生命が新変額個人年金保険「スイス年金」の特別勘定について運用状況などを報告する資料です

ご注意いただきたい事項

▲ 投資リスクについて

この保険の積立期間(運用期間)中の運用は特別勘定で行われます。特別勘定資産の運用実績に基づいて死亡給付金額、年金額および解約払戻金額等が変動(増減)します。特別勘定資産の運用は、株式および公社債等の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあり、運用実績によってはお受け取りになる年金額や解約払戻金額の合計額が一時払保険料を下回ることがあります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。

▲ 元本欠損が生じる場合があります

解約の時期、被保険者の契約年齢等の諸条件により、ご契約者等が受け取る金額の合計額が、お払込保険料の合計額を下回る場合もあります。

保険会社の業務又は財産の状況の変化により、年金額、給付金額、解約払戻金額等が削減されることがあります。

▲ 諸費用について

契約初期費	一時払保険料に対して 5% を特別勘定繰入前に控除します。
保険関係費	特別勘定の資産総額に対して (年率0.75%+運用実績に応じた費用(※)) /365日を毎日控除します。 ※運用実績に応じた費用:運用実績を毎日判定し、実績が 年率1.5%を超過 した場合のみ、 超過分1%あたり0.1%(上限1.25%) 控除します。
年金管理費	年金支払開始日以後、支払年金額の 1% を年金支払日に控除します。
資産運用関係費	グローバルマーケット型 年率0.714%程度

資産運用関係費は将来変更されることがあります。


その他お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

その他ご留意いただきたい事項

- 当資料は、特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 新変額個人年金保険「スイス年金」は、生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有されている訳ではありません。
- 新変額個人年金には複数の特別勘定グループが設定されており、「スイス年金」には「特別勘定グループ(TS型)」が設定されています。保険料繰り入れおよび積立金の移転は「特別勘定グループ(TS型)」に属する特別勘定に限定されます。「特別勘定グループ(TS型)」以外の特別勘定グループに属する特別勘定への保険料の繰り入れおよび積立金の移転はできません。
- 特別勘定および特別勘定の主な運用対象となる投資信託の内容が変更されることがあります。
- 特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用等を特別勘定資産から控除していることなどによるものです。
- ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

ご検討に際しては、「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」をご契約前に十分にお読みいただき、投資リスクや負担いただく諸費用等の内容についてご確認・ご了解ください。また「商品ガイドブック」、「ご契約のしおり-約款」、「特別勘定のしおり」等をあわせてご覧のうえ、お申込みいただきますようお願いいたします。詳細につきましては変額保険販売資格を持つ生命保険募集人にご相談ください。

[募集代理店]

 **東京スター銀行** 株式会社 東京スター銀行

〒107-8480 東京都港区赤坂1-6-16

0120-330-655

(平日9:00~21:00 土日祝9:00~17:00 年末・年始を除く)

[引受保険会社]



アクサ フィナンシャル生命保険株式会社

〒160-8335 新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト10F

TEL 03-6911-9100 FAX 03-6911-9260

<http://www.axa-financial.co.jp>

AFL-2008-263-20080421(0421)/FR